

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考	
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価				目標				
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②			
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員が事業所を訪問し、経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善をはかり、健全な企業を育成するとともに、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 268社 ・巡回窓口指導延件数 733件 ・課題解決提案件数 20件 ・経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 112.8%)	実績数値 733	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	実績数値 20	20	課題解決提案の中で補助金の申請提案や資金繰りが困難な事業者に対して経営改善の支援を行うなど効果的な指導を実施することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	経営課題に対して的確に対応して業務向上に繋げるために、課題解決提案件数を引き続き目標に掲げる。
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・対象事業所数 66件 ・指導延日数 330日 ・指導回数 829回 ・対象事業所数 66件	小規模事業者	指標 委託事業所数 (達成度 98.5%)	実績数値 66	指標 (達成度 %)	実績数値		正しい記帳方法の指導と決算・確定申告を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付けることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	経理の自計化と適正な税務申告に結び付けるとともに、現状の指導対象者数を維持する。対象者が減少しているため目標を下げる。
講習会	小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題についての啓蒙をはかり、資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。経営革新セミナーを開催し、経営革新計画承認を目指すことを目的とする。	講習会開催回数及び参加人数 集团講習会 1回 4人 (内経営革新 1回 4人) 個別講習会 15回 262人 合計16回 266人	小規模事業者	指標 集团講習会参加人数 (達成度 40.0%)	実績数値 4	指標 個別講習会参加人数 (達成度 79.4%)	実績数値 330	262	経営革新セミナーの講習会を1回開催。また税務に関わる個別相談会などの開催により、小規模事業者にとって必要な経営一般の知識習得ができ、事業者の資質向上をはかることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	集团講習会では経営革新セミナーを実施し、計画承認を目指す。また個別講習会では税務を中心とした講習会を実施する。
若手後継者等育成事業	若手後継者が人々の行動や考え方を広く理解した上で、個々の経営に関する資質向上に取り組み、本事業の実施により参加者のスキルアップをはかり、顧客ニーズに對して柔軟に対応できる能力を身につけるとともに、参加者同士の情報交換を通してお互いの経営ノウハウを共有することをねらいとする。また、地区内商工業者の担い手として地域に活力を見出すためにも部員の加入促進は必要不可欠であるため青年部・女性部の活動をPRすることで加入の増強を図る。	【研修事業の実施】 内容：生成AIセミナー 実施日：2/8(木) 参加人数：10人 【青年部全国大会】 実施日：11月15～16日 場所：群馬大会 参加者：正副部長3名 【女性部全国大会】 実施日：10月18～19日 場所：静岡大会 参加者：正副部長3名	小規模事業者等	指標 研修事業の参加者数 (達成度 66.7%)	実績数値 10	指標 (達成度 %)	実績数値		地区内の若手後継者を対象にデジタル化の流れに対応するため、「生成AI」についてセミナーを実施したことで個々のスキルアップに繋がった。青年部全国大会では同じ境遇の事例を学ぶことで後継者としての自覚と意識を高めることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も個々の資質向上を目的とした研修を通じて部員相互のスキルアップを図る。また、全国大会へ参加することで若手後継者としての意識を高める。若手後継者数の減少に伴い、目標数値を引き下げる。
祭典	各種のお祭り・祭典などの開催と積極的な参画により、地域の経済活動を促進するとともに、地域の総合的な振興をはかることを目的とする。地域イベントと連携した売り出し等を行い、集客力アップを目指す。	【ふじまつり】4/29～5/5 来場者数 25,000人 【おいでん夏まつり】7/8 来場者数 3,400人 【紅葉まつり】11/17～19 来場者数 47,000人 合計 75,400人	小規模事業者等	指標 地域連携イベントの実施回数 (達成度 100.0%)	実績数値 3	指標 イベント来場者数 (達成度 167.6%)	実績数値 45,000	75,400	通常通りのイベントが開催できたことでコロナ以前の集客をとり戻しつつある。各まつりが地域の産業をPRする機会となり、地域の経済活動促進に結びついた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 廃止	目標② 上げる	地域商店や事業者の貢献度合いをよりわかりやすくするため、指標を「イベントの実施回数」から「出店者数」に変更する。
商店街・街づくり事業	スマート商店街化の展開を目指すためのシステムとして、ECサイト・販促アプリと連携できるクラウド型電子マネーポイントシステムを推進し、地区内商店等の利用促進につなげていく。併せて、商店街の活性化に向けたまちづくり対策に取り組んでいる。	クラウド型電子マネーポイントシステム推進 【システム導入検討会議】2回 【システム説明会】1回 実施対象：地区内商店等 クラウド型電子マネーポイントシステム参画事業者数 4事業所	小規模事業者等	指標 参画事業者数 (達成度 40.0%)	実績数値 4	指標 (達成度 %)	実績数値		スマート商店街化を目指す電子クラウドシステムの推進を図ったが、商店の減少や集客の困難さに直面し、商店の利用促進につなげるまでの結果に至らなかった。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 廃止	目標② 実施方法① 実施方法②	クラウドシステムの推進が困難であることから次年度は地域活性化と商店集客につながる取組みを展開する。イベント開催や共通ホームページの着用の参画事業者数を目標とする。
雇用促進事業	就労者の確保・育成・定着促進をはかるため、就労の場の拡大や商工業等における意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	優良従業員被表彰者数6人(優秀技能者・創意工夫労働者を含む) 優秀企業被表彰数2事業所	小規模事業者等	指標 優良従業員被表彰者数 (達成度 60.0%)	実績数値 6	指標 優秀企業被表彰数 (達成度 100.0%)	実績数値 2	2	表彰された従業員のモチベーションの向上に繋がっており、雇用の定着を図るきっかけとなった。今後の従業員育成においても高い効果を期待できる。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	企業・従業員のステップアップするためのきつかけ作りの一環として継続して実施する。
青年部・女性部事業 ※ 経営発達支援事業	商工業に携わる青年部、女性部に對し、経営に必要な知識の習得や資質の向上をはかるための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を促すことにより、地域の活性化を図る。	青年部員加入増強18人・女性部員加入増強32人 小規模企業の振興・発展につながる講習会・研修会の開催	小規模事業者等	指標 青年部員数 (達成度 81.8%)	実績数値 18	指標 女性部員数 (達成度 97.0%)	実績数値 33	32	青年部、女性部ともに目標を達成することができなかった。部員数の減少は今後の部会活動に大きな影響を及ぼすため、加入促進により一層注力する必要がある。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	組織強化につなげるために加入増強に取り組む。未加入者へ青年部・女性部活動をPRし加入の推進を行う。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考	
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価						
				指標	実績	指標	実績	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②			
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定をはかるために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済355口、火災共済26口、小規模企業共済88口、倒産防止共済13口、特退共30口、中退共79口 合計591口 健康診断受診者数139人	小規模事業者等	各種共済加入者数 (達成度 96.9%)	健康診断受診者数 (達成度 92.7%)	目標には届かなかったが中小企業共済の加入共済をはじめ、従業員の福利厚生に役立つ共済の加入推進を行い、事業者の安定的な発展を図ることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	加入推進を積極的にを行い、事業者や従業員の福利厚生に寄与する。倒産防止共済の加入口数の目標値をあげる。
				610	591				150					139	B	
労働保険事業	労働保険料の申告納付その他各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び適正な徴収をはかることを目的とする。	委託事業所数44事業所	小規模事業者等	委託事業所数 (達成度 91.7%)	健康診断受診者数 (達成度 %)	労働保険に関する事務手続きなどを代行することにより、小規模事業者等の事務負担を軽減し、その適正な運用をはかることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険に関する知識を深めてもらいながら、引き続き未加入事業者の解消に努める。対象事業所減少のため目標値を引き下げる。
				48	44										B	
税務関係団体指導事業	青色申告会・間接会等の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	税務指導の拡充による確定申告支援等、小規模事業者等の自計化をはかる 確定申告書の受付件数125件	小規模事業者等	確定申告受付件数 (達成度 96.2%)	健康診断受診者数 (達成度 %)	青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色勤奨を行い、確定申告の受付件数の増加をはかることで、小規模事業者等の税務の知識を高めることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色勤奨を行い、確定申告の受付件数増加を目標とする。
				130	125										B	
部会・委員会事業	各部会事業は商工会の根幹をなす組織の一つであり、その大半は小規模事業者である。これら部会事業を積極的に行うことは、小規模事業者の経営改善に直接繋がるものである。	商業部会開催回数8回 工業部会開催回数5回 合計13回	小規模事業者等	商業部会開催回数 (達成度 133.3%)	工業部会開催回数 (達成度 83.3%)	商業部会を中心に地域活性化を図るための部会を開催した。事業所PR動画を制作し、イベント等において会員事業所のPRを行った。	総合評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	商業部会を中心に地域内の魅力ある商品を選定し、ブランド化を目指していく。
				6	8				6					5	B	
専門家派遣課題解決事業	小規模事業者の高度な相談内容に対して、解決のために経営に関する専門家を事業所へ派遣して、技術や知識提供を支援することを目的とする。	専門家派遣件数14回	小規模事業者等	専門家派遣回数 (達成度 280.0%)	健康診断受診者数 (達成度 %)	専門家派遣を利用した事業者が事業計画書を策定し、高い確率で補助金の申請、採択を受けることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	課題解決のための一助として活用してもらい、高度な相談に対しても解決をはかる。事業環境の変化など専門家派遣の必要性が高いため目標値をあげる。
				5	14										B	
展示会・商談会支援事業	豊田市内の1商工会議所・6商工会が一体となり、小規模事業者と商品の紹介・販売をする展示会を開催することを目的とする。また、近隣ビジネスフェアへの参加支援やアンテナショップ等への出展支援を行い、新たな需要の開拓に寄与する。	【物産展等出展】 ・とよたの特産品展 ・あいちまるっと！マルシェ出展 ・小牧基地オーブンペース ・出展事業者：6事業者(延べ) 【アンテナショップ出展】 ・まるっと！あいち ・愛・地球博ロタンダ風ヶ丘 出展事業者：3事業者(延べ)	小規模事業者等	展示会出展企業者数 (達成度 90.0%)	健康診断受診者数 (達成度 %)	本事業を通じて商品の陳列方法や販売促進のノウハウを習得することができた。また商品開発事業に取組み一定の成果を得ることができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	消費喚起として様々なイベントや展示会の開催が期待できる。多くの事業者の販路開拓を支援するため引き続き実施する。
				10	9										B	
事業計画策定支援事業	小規模事業者の価値観を明確にし、自社の経営理念を確立し、経営の強みと弱みを把握・理解した上で、課題解決のために必要な取り組みについての事業計画策定を支援する。また創業者に対し、経営知識の向上を目的に創業相談窓口を開設し、創業事業計画の策定支援を行うことにより円滑な事業展開をはかる。事業計画策定予定者に対して今後予想されるデジタル産業への変化に対応するため、DXの必要性や基礎知識を習得するための相談会等を実施する。	【事業計画策定相談】 実施時期：通年 参加人数：8名(延べ) 【創業計画策定相談】 実施時期：通年 参加人数：3名 【DX推進相談】 実施時期：通年 参加人数：2名	小規模事業者等	事業計画策定数 (達成度 160.0%)	創業計画策定数 (達成度 100.0%)	事業計画、創業計画の策定支援を行うことにより経営計画に沿った補助金の申請に取り組み事業者が多くあった。また、計画の策定にあたり、DXへの取り組みを積極的に進めるためのDX推進相談会を実施した。	総合評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	事業計画、創業計画の策定支援を行う。今年度も経営計画に沿った補助金の申請に取り組み。創業支援についても継続して創業支援策を検討する。
				5	8				3					3	B	
※ 調査・広報事業 経営発達支援	小規模事業者の経営状況を把握するため経済動向調査を実施する。また小規模事業者への施策、制度を周知するためのホームページ等を活用し、情報発信を行う。	経済動向調査の実施 50事業所 ホームページ、公式LINEによる情報発信 ホームページ等を活用し、情報発信については、備考欄に○を付すこと。	小規模事業者等	調査事業所数 (達成度 100.0%)	健康診断受診者数 (達成度 %)	経営動向調査を実施することで地区内小規模事業者の経済動向を把握することができた。調査結果をホームページ等に掲載することで地区内の経済動向についての情報提供を行えた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	地区内の事業者の経営動向調査を上げるためにヒアリング項目の見直しやヒアリング方法を検討する。
				50	50										B	